

ハナノキ Hananolki



発行◎愛知県労働者福祉協議会

愛知県福祉事業団体情報誌

2013 新年号

Winter ● 2013

No.171



国宝犬山城と、この城下町をいつかは「世界遺産」にしたい



愛知県労働者福祉協議会

連帯・協同でつくる 安心・共生の 福祉社会を目指して



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は、愛知労福協をはじめ、東海労動金庫、全労済愛知県本部、愛知県住宅生協、福祉基金協会(ハートフルセンター)の事業推進に対し、格別なるご理解とご協力を賜り心から感謝を申し上げます。

昨年は、国連が定めた「国際協同組合年」にあたり、中央労福協を中心にセミナーやシンポジウムなど様々な取り組みが実施される中で、協同組合が果たす社会的役割について改めて考えるとともに、協同組合と労働組合の連携のあり方について議論が行われてきました。今後は、その中で示された行動指針等を全国の労福協と協働して実行に移し、協同組合運動の精神である人と人との絆を強め支え合う共助の輪を広げていきたいと考えます。また、愛知労福協におきましては、特に、支部活動を通じ会員のご理解を得る中で福祉事業団体の事業活動を推進してまいりますので、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、私たち勤労者を取り巻く福祉環境は、長期化する経済の低迷等を背景に、格差や貧困が増大

し深刻な社会問題となっています。また、少子高齢化が進む中で、年金問題をはじめとする社会保障制度の整備、再構築が急務であり、将来に亘って安心して暮らせる態勢づくりが重要となっています。

愛知労福協においては、本年も、「連帯・共同で安心・共生の福祉社会の実現」を目指し、自助・共助の自主福祉活動を推進してまいります。また、関係する福祉事業団体との連携を深め、勤労者の生活を守るためのセーフティネットの拡充と実効性のある態勢づくりに努めてまいります。

愛知労福協の全15支部、労働団体、福祉事業団体、そして愛知県ならびに市町村の各自治体にもご協力を頂き、勤労者福祉の向上に積極的に取り組んでまいりますので、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が、皆さんにとって、輝かしい年となりますよう心からご祈念申し上げ年頭のご挨拶とさせて頂きます。

● 愛知労福協活動 ●

「21世紀・人と暮らし環境に優しい福祉社会の実現」

- 福祉事業団体の基盤強化と
生涯福祉サポート体制の充実
- 組織拡大・活性化と支部活動の強化
- 中小企業・未組織勤労者の福祉施策充実
- 活動推進の基盤整備と強化・充実
- 国際交流活動、社会貢献運動の推進

犬山城の城下町“シャッター通り”商店街から 「伝統的建造物保存地域」実現へ

屋根裏

愛知北エフエム放送FM 84.2

まちの放送室

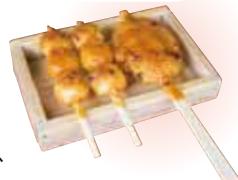
名鉄犬山線「犬山」駅“東口”直通バスは、明治村、リトルワールド、日本モンキーパークなど日帰りレジャーでおなじみだが、“西口”側徒歩10分、本町交差点から北へ犬山城まで続く「本町通り」の商店街が今、人気を集めている。4、5年前まで9割り方がシャッター通りだったこの城下町は、TMO法人で推進するまちづくりの成功例と言えよう。



登録無形文化財指定の磯部邸。屋号「柏屋」。かつての呉服商内部は博物館として一般公開。



2007年初代串キングの「山田五平餅」。くるみ・ごま・落花生をブレンドした香ばしいタレで大人気。



Tmo 犬山まちづくり株式会社 (愛知県犬山市)

TMOの会社組織にした切実な事情

式番屋1号館の会議室を訪問。社長の日比野良太郎さんから、会社の経緯など詳しく伺った。

「どの商店街も、まだまだ悲惨な状況です。ここも同様でしたが10年ほど前、TMO(タウンマネジメントオーガニゼーション)法により、犬山市と民間1,500万円ずつの資本金で会社を立ち上げました。同社の目的は“商店街のシャッターを開けること”。設立当時の商店街は、ほとんどが閉店してしまっていて、店主もいらないどん底からのスタートだったそうだ。

「平日は、犬山城への道を間違えた人が2・3人、野良猫が1匹通るくらい」。誇張ではなくそんな状況がずいぶん続いた。閉店して住まいだけとなった建物を借り上げ手入れして、新たな出店希望者を募りテナントとして貸し出す、という地道な作業をしていった。その結果、「4年くらい前から人が集まるようになりました」。

電話・電力線の地中化も進め、景観条例も整備し、通りからお城がよく見えるよう

に。するとしだいに町並みの魅力に気づき始めた人たちが戻って来た、というわけだ。

“装置産業”では町は活性化しない

だが、それでは一度訪れたらおしまいの単なる観光地どまり。何度も訪れるリピーターを確保しなければ意味がない。それはディズニーランドに学んだと言う。「あそこはいつも変化に富んだイベント・パフォーマンスをやっている。だから何度も行きたい。対してイタリアのベニスなどは遺跡の観光地で遺跡案内だけでしょう?」。

犬山まちづくり株式会社のもうひとつの目玉事業は、商店街という“装置”に“動き”を与えること。毎月と言っていいほどイベントを仕掛けている。「犬山はお酒祭りばかり。ビール祭り、ワイン祭り、1月にはどぶろく祭り。他にも地酒、焼酎、ウォッカ、テquila、紹興酒とネタはあるから」と日比野社長は笑う。「テーマはお酒。だから、クルマで来てもダメです。電車で来て、商店街をゆっくり歩いてもらう仕掛け。犬山署に“歩行者天国”にして欲しいと頼んだら『お酒の祭りを警察が応援とは、

いくらなんでも…』と、断られちゃいました」。

しかし、今はあまりにも毎回大勢の人出なので“歩行者天国”はちゃんと実現している。ほかに、町内全域で13両もある車山(やま)を、秋の犬山祭りに加えて春祭りにも出すようにした。スタンプラリーや、串に刺して歩きながら食べられる食べ物の人気を競う「串キング」のコンテストも人気を集める。「復興した商店街はどれくらい?」とお聞きすると、「商店でシャッターが閉まっているのは、あと2軒かな」との返事が返ってきた。



通りから見える犬山城。電線を地中化し、それにあわせておしゃれな細身のあんぐん型街路灯を設けた。



「秋のあつたか鍋と地酒まつり」をふれまわるチンドン屋(左)。右は、夏の「城下町踊り」。城下町には着物姿が似合う。



「歴史」の幸運を超えて

ここにはもともと、国宝犬山城と戦災の難を免れた歴史的建物の城下町というボテンシャルがあった。「航空隊のあった各務原方面からの空襲があったんです。でも、木曽川が月夜に光ってて、攻撃目標と間違われた。町は灯火管制でほとんど被害はなかったです」。

さらに時代がくだって道路拡幅の危機が訪れる。「かつては、私も道路拡幅に賛成でした。本町の交差点から南の下本町は道路を拡げ、昭和38年には全国有数の防災地区とさえ言われた。だから、本町通りの幅も早くお城まで広げなくては、と連判状までとって歩いたんです」。

しかし、旧家の3軒が道路拡幅に断固反対。本町の交差点より北、お城までの本町通りはそのまま残る。

その後、昭和45年には都市計画道路の規制があった。全国一斉に都市計画路線が決められ、この城下町の通りも16mに拡幅が決まった。「前は道路拡幅賛成でし

たが、今度は大反対でした。それは全国どこの城下町も、道路拡幅で歴史的建物が壊されいく例を目の当たりにしたからです」と社長。

結果、県や国の各関係機関の抵抗に遭いながらも都市計画路線廃止を決定。それは日本で唯一の例外的措置だった。古地図と今の住宅地図を重ねるとほぼピッタリ合う稀有な町並みはこうして残った。

いざれば「世界遺産」指定を

城下町が一番賑わったのは、明治以降から戦後。犬山の城下町は、岐阜を含むこの一帯での一大商業地を誇る。当時は有力な呉服商が多かったそうだ。「私は昭和16年生まれなので、子供の頃の賑わいをよく知っています。戦後でも、三八市(3と8のつく日に立つ市)の時などは歩けないほどの人出でした。当時は、200店舗ほどもあったんですよ」。

日比野社長はじめ役員の皆さんの夢は、まず第一歩が「伝統的建造物保存地区」、さらには友好関係を結ぶ富山県高岡



市が認定された「重要伝統的建造物保存地区」。そして、ゆくゆくは「世界遺産」指定を目指したいと言う。それに向けて現在、通りの各店舗・住宅に対して、洋風にした建物を和風に戻してもらうよう働きかけている。すでに何軒かには応じてもらった。多少不便はあってもと、歴史的・文化的価値への賛同者は拡がり、夢は少しづつ現実味を帯びていく。

「課題は、かつては画期的と言われた下本町。そこが逆に今は寂れていほとんどシャッター通り。歴史的建造物とバランスを取る意味でもこの街区は、逆に先進的なまちづくりをしていきたい」と、日比野社長は締めくられた。

実質、ここ数年での商店街再生の成果は目覚しい。犬山まちづくり株式会社の活躍で、「城下町ルネッサンス」はますます熱を帯びつつあるようだ。



日比野良太郎社長(右)は犬山商工会議所の会頭である。



メンバーでテーブルを囲むと手一杯の会議室。古い家屋をそのまま使うのが最優先というポリシーだ。



小出力のFM局「愛知北エフエム放送」は城下町をカバーしタイムリーな情報を毎日流す。電波の到達範囲外にはインターネットのUSTREAMでスタジオをライブ中継。右はFM放送局の外観。アジアの衣料・雑貨のお店と同居している。



機邸邸の中庭部分。「うなぎの寝床」と言われるほど奥行が深く、50mほどの敷地に茶室、蔵などがある。奥の蔵の中はギャラリーとして借りることも可能。



昔からのお店は、店の奥へと空間がずっと続いているのが特徴だ。このお店も奥まで座席が続いている。

懐かしい雰囲気が
味わえるよ♪



中央労福協「第5回 加盟団体代表者会議」が開催

2012年11月16日(金)、東京・ホテルラングウッドに全国労福協(47)・事業団体(11)・労働団体(36)の代表者が一堂に会し、第5回加盟団体代表者会議が開催されました。会議では、2012~2013年度活動方針の中間総括及び課題・補強案・2013年度予算案等について提案・審議が行われ全会一致で可決承認されました。

また、2012年の国際協同組合年を通じて、議論されてきました協同組合と労働組合の連携強化については、今後さらに具体化し行動に移していくことを確認しました。



▲中央労福協
古賀会長あいさつ

◀代表者会議会場

2012年度 中部労福協研究集会

2012年10月18日と19日の2日間にわたり、ホテルキャッスルプラザ名古屋において、近畿・中部12府県の労福協から48名の役員、または関係者の方が参加し「2012年度中部労福協研究集会」が開催されました。さまざまな分野の講師による講演は、どれも興味深く大変有意義な研修会となりました。

■講演・講義の内容

- 「就労支援・大阪からの実践報告」～都市型農業の六次産業モデル～
ネクストステージ大阪有限責任事業組合 事務局長 飯島秀司 氏
- これからの社会・経済情勢の見通しについて
早稲田大学社会科学総合学術院 教授・経済学博士 田村正勝 氏
- 「わたしの転機」～プロ野球選手から新聞記者へ～
元、中日ドラゴンズ 捕手 新宅洋志 氏
- 「2012年度国際協同組合年」の制定の意義と課題
中央労福協 事務局長 渡邊和夫 氏

▼川口会長あいさつ



ブロンズの会 会員交流会

労働福祉功労賞受賞者で構成するブロンズの会の秋の恒例行事となりました「文化探訪・会員交流会」が、10月25日~10月26日にかけて、17名の会員にご参加いただく中で開催されました。

初日は、南知多方面の文化探訪として野間大坊と杉本美術館を見学し、夜は、宿泊先の豊田自動織機保養所「山海荘」で懇親を深めました。

また、翌日には、知多方カントリー倶楽部においてゴルフ交流会を行い、会員相互の親睦をはかりました。



▲野間大坊(上)と杉本美術館(下)

「第25回 愛知県勤労者スポーツ大会」が盛大に開催

11月10日(土)、長久手町の愛・地球博記念公園において、「第25回愛知県勤労者スポーツ大会」が開催されました。昨年から、ソフトボールの部の運営はすべて愛知労福協が担当していますが、各支部のご協力により地区予選(158チーム2,368人)及び決勝大会(15チーム210名)とも大変多くのチームにご参加いただき、盛大に開催することができました。大会運営にご協力いただいた関係各位並びにご参加の選手・役員の皆さんに心より感謝申し上げます。

大会は、初戦から白熱した好試合が各グラウンドで繰り広げられましたが、決勝戦においては昨年と同チームの対戦となり、接戦の末、三菱電機労組名古屋支部チームが連覇を果たしました。

試合終了後、表彰式を行い、優勝・準優勝・3位のチームには知事賞と副賞、4位のチームには敢闘賞が授与されました。



▲三菱電機労組名古屋支部チーム(上)。下段は開会式の様子と選手宣誓をする後藤典明さん

●ソフトボールの部決勝大会出場15チーム (地区代表チーム)

支 部	チ ー ム 名	
名古屋南	東レ労組名古屋支部	3位
西 三 河	豊田自動織機労組	
名古屋金山	トヨタカローラ名古屋労組	
名古屋中	名古屋交通労組	
名古屋東	マルヤスエンジニアリング労組	
岡崎・額田	ジェイテクト労組花園支部	
名古屋北	三菱電機労組名古屋支部	優勝
尾 張 東	豊精密工業労組	
知 多	住重労連名古屋地方本部	4位
海 部	高岳製作所労組甚目寺支部	
豊 田	トヨタ紡織労組	
東 三 河	日本車輌名古屋労組	
名古屋西	三菱重工労組名古屋労組	
尾 張 西	三菱電機労組稻沢支部	
尾 張 北	三菱重工労組名古屋労組	準優勝

労働法講座 IV ~受講者募集のお知らせ~

愛知県労働協会では、以下の内容で労働法講座を開催します。どなたでもご参加いただけます。

- 3/ 1(金)18:45~20:45 … メンタル不調者への法的対応をめぐる諸問題
- 3/ 5(火)18:45~20:45 … 過労死・過労自殺問題の現状と再発防止・未然防止に向けた取り組み
- 3/ 7(木)18:45~20:45 … 労働時間管理をめぐる今日の問題と労務管理上の留意点
- 3/12(火)18:45~20:45 … 「就業規則の効力と労働条件の不利益変更」をめぐる様々な法的問題と紛争予防の重要ポイント
- 3/14(木)18:45~20:45 … 個別労働紛争の現状・傾向と予防・解決のための手引き

場所 愛知県産業労働センター(ウインクあいち)
名古屋市中村区名駅4丁目4-38

受講料 12,000円(5日間・税込)

●申し込み・問い合わせ●

〒450-0002
名古屋市中村区名駅4-4-38
(財)愛知県労働協会
労働教育グループまで
<http://www.ailabor.or.jp/rodo/>
TEL (052)485-7154
FAX (052)583-0585

名古屋ブロック

第8回 退職準備セミナーを開催

11月の毎週日曜日、4日・11日・18日は午前/午後、25日・午後の計7回をブロック6支部が順次開催しました。

参加者は合計337名、内109組のご夫婦にご参加頂きました。講師は社会保険労務士の鈴木久子さんに、7回すべてお願ひしました。

生年月日に応じて年金支給開始年齢が段階的に引きあがることや、60歳以降の働き方による受給金額など、退職の準備として参加者全員が熱心に聴かれました。参加者アンケートでは、具体的な判りやすい説明を聴き、今までの

不明な点が理解できた事や、不安が少し和らいだとの意見が多数あり、セミナーに参加して「よかったです」と答えた方が90%を超えました。



▲熱心に聴講する参加者のみなさん



▲講師の鈴木久子さん

支部だより
▼
▼

名古屋中支部

第28回 定期総会
2012年10月5日 参加:45名
場所:東海労働金庫 本店大会議室



名古屋北支部

支部ソフトボール大会会場周辺道路の
清掃活動
2012年
10月14日
参加:140名
場所:名古屋市
守山区



名古屋東支部

秋季会員全体会議
2012年11月27日
参加:59名
場所:アビタン
大会議室



名古屋南支部

第28回 定期総会
2012年9月27日 参加:33名
場所:東海労働金庫
名古屋南支店2階大会議室



第2回 チャリティゴルフ大会
2012年11月15日
参加:52名
場所:日本ラインゴルフ俱楽部



東三河支部

福祉事業団体実務担当者研修会
(工場見学と研修)
2012年11月9日 参加:30名
場所:三菱レーヨン豊橋工場



西三河支部

自治体懇談会
2012年11月28日
参加:役員11名、自治体6名
場所:全労済刈谷会館



労金・労済地域行事
「れんこん掘り」
2012年10月13日 参加:45名
場所:愛西市三和町 れんこん畠



海部支部

第37回 定期総会
2012年10月24日 参加:48名
場所:東海労働金庫
津島支店2階大会議室



福祉事業団体
実務担当者研修会
2012年11月3日
参加:26名
場所:中部国際空港他



友の会だより

第15回 交流ゴルフ大会

2012年10月17日(水)67名の参加により、中日カントリーで開催しました。3コースから曇り空のスタートで後半は雨。天気の影響もあり、平均スコアは94.6と(昨年91.6)を下回ったものの、平均年齢69.2歳はとてもレベルが高いスコアといえます。

優勝は、団体が尾張東地区(4名の平均グロスは88.3)、個人は安城地区の鈴木鉄吾さん(グロス86NET70.4)、ベスグロは尾張西支部の桑山英雄さん・安田義道さんでお二人とも77でした。



▲表彰式の様子



▲団体優勝の尾張東地区チーム(左)と個人優勝の鈴木さん(右)

友の会の集い

2012年9月20日~21日に名古屋市中区「名古屋クラウンホテル」で一泊の18地区友の会から総勢88名が参加しました。

今年は少し「笑い」を主眼として大須演芸場の席亭である足立さんに講師をお願いしました。聴く方と喋る方の年齢があまり変わらない? 一体感の中で1時間30分がみんなの健康増進となった講演でした。

翌日は恒例のハイキングとして大須の街まで歩き、参加した50名全員の方にたい焼きと団子の引き換え券をお渡しして、由緒あるお寺・神社を自由に散策しました。

愛知労福協友の会の集い



▲大須観音散策(左)、開会あいさつの浅川会長(右上)、講師の足立さん(右下)

名古屋西支部

**第9回
チャリティゴルフ大会**
2012年11月17日
参加:25組 94名
場所:中日カントリークラブ



秋季全体会議
2012年11月26日
参加:37名
場所:名鉄会館



名古屋金山支部

第28回 定期総会
2012年10月3日
参加:40名
場所:東海労働金庫
金山支店



尾張東支部

秋の大収穫祭
2012年10月20日 参加:40家族 124名
場所:愛知郡東郷町 近藤ファーム



尾張北支部

第32回 定期総会
2012年10月2日
参加:80名
場所:小牧勤労センター



小牧市民まつり
(スカイドリームゲッキ、
オーキッドボール)
2012年
10月20日~21日
応援役員:延べ33名
場所:小牧山会場



尾張西支部

第30回 定期総会
2012年9月28日
参加:29会員 64名
場所:全労済一宮支所会館



**友の会 尾張ブロック
交流グラウンドゴルフ大会**
2012年10月15日 参加:68名
場所:一宮市 森本中央公園



豊田支部

退職準備セミナー
2012年11月18日 参加:119名
場所:豊田市福祉センター



岡崎・額田支部

第35回 働く者の作品展
2012年
11月14日~18日
来場者:804名
場所:岡崎市美術館



知多支部

**ろうきん地域行事
みかん狩り**
2012年11月18日
参加:310家族 983名
場所:美浜町「青山みかん園」



「働くことを軸とする安心社会」を築こう! ～連合愛知 第24回 定期大会を開催～

連合愛知は10月29日、日本特殊陶業市民会館において第24回定期大会を開催しました。「働くことを軸とする安心社会を築こう!」をスローガンにするこの大会には、各界からの来賓、連合愛知役員、また、各構成組織からの代議員・傍聴者など、700名を超える参加がありました。

連合愛知は、この大会において「2013~2014年度活動方針(案)」「2013年度予算(案)」などを可決・決定しました。その後、第4号議案「役員の選出」が満場一致で可決・決定され、土肥 和則新会長より新役員の紹

介が行われるとともに、「連合が発足して24年、日本の労働界を統一し社会的影響力を持ってその責任と役割を果たすことを根幹におき、運動を開催してきた。その考え方の基本を忘れず、連合愛知は一歩ずつ着実に、地域に根ざした活動を進めながら、ローカルセンターとしての役割を果たし、愛知県で働く仲間の皆さん的生活向上、安心できる社会を目指し、さまざまな活動に取り組んでいく。

愛知県で働く労働者の労働組合組織率は20%程度という現状を受け、もっと多くのみなさんに労働組合の

活動に理解をいただくことが必要である。

国政選挙については、しっかりと議論を行った上で連合愛知推薦候補者の必勝に向け取り組んでいく。ご理解をお願いしたい。52万人の組合員のみなさんとともに執行部一丸となって『働くことを軸とする安心社会』の実現に向けて活動を進めていく。ご支援・ご協力を心からお願いする。」と2013年度に向け決意を表明しました。



▲土肥新会長からのあいさつ

「いしづえの碑」に新たに4柱を合葬 ～第51回 社会運動家顕彰追悼祭をしめやかに挙行～

連合愛知土肥会長が委員長を務める愛知県社会運動家顕彰委員会は、11月7日、鶴舞公園内いしづえ碑前において「第51回愛知県社会運動家顕彰追悼祭」を開催しました。

この委員会は、労働運動や社会運動、平和と民主主義を守る諸活動にご尽力され、志半ばにして倒れられた同志の方々を顕彰し、そのご遺族の皆様を励ますことを目的として設置されています。

土肥顕彰委員会委員長によるあいさつの後、新合葬者の名前を記した銘板の奉納、遺族等による献花が

行われるなど、追悼祭はしめやかに挙行され、本年新たに4柱を加えたことにより、「いしづえの碑」への合葬は707柱となりました。



▲ナレーターをする
日高のり子さん(左)と
名古屋フィルハーモニー
交響楽団の演奏(下)

ディズニー・ジブリ音楽を満喫 ～連合愛知 クラシックコンサート「名フィルとともに」を開催～

連合愛知は、9月22日愛知県芸術文化劇場コンサートホールにおいてクラシックコンサート「名フィルとともに」を開催しました。今回のコンサートは、東日本大震災の被災地から愛知県内に避難されている家族の約100名を招待し、連合愛知として間接的な被災地支援の取り組みを行いました。

コンサートは「みんな大好き! アニメーション映画の音楽」と題し、声優の日高のり子さんによる司会・ナレーターで行われ、指揮者:橋直貴さん、演奏:名古屋フィルハーモニー交響楽団で行われた本演奏会は、ディズ

ニー・ジブリ音楽である「美女と野獣」、「ピノキオ」「魔女の宅急便」「となりのトトロ」など多くの方が聴いたことのある映画音楽が演奏されました。約1,600名の参加者は、お子様連れのご家族が多く、アニメーション音楽で芸術の秋を楽しんでいただきました。



東海ろうきんのマネー講座 ②

こんな手口、あんな手口

「自分みがき」もいいけれど…

誰だってキレイになりたいし、英語も話せるようになりたい。性格を変えたいと願う人もいるでしょう。社会人になれば、資格をとってスキルアップを考えるのも無理はありません。

しかし、そんなあなたの悩みや弱みを悪質商法が狙っています。高額契約のダメージを受けると「自分みがき」どころではありません。

どうか、契約する前にゆっくりじっくり考えてください。

契約は慎重に
よく考えてから



●「断ったつもり」は通用しない

職場や家庭に突然電話をしてきて、国家資格などの取得をすすめ、テキストやDVDなどを無理矢理売りつけるのが「資格商法」と呼ばれるもの。

「結構です」「いいです」とあいまいな返事をして断ったつもりでも、勝手に教材を送りつけてきます。断る場合にははっきり「要りません」「断ります」と言いましょう。電話勧誘は、一度断ると再勧誘は禁止されています。

悪質な業者が一度引っかかった人に「解約の手続きをしてあげる」などと近づき、さらに解約料や手数料を請求する二次被害も見受けられます。電話勧誘でも契約書の交付が義務づけられていますし、クーリング・オフもできます。

資格商法 断ったのに!?



悪質商法から自分を守るコツ

■おかしいと思ったら
きっぱり断る



■うますぎる話には
近づかない



それでも相手は人をだますプロ!

◆契約書・説明書はきちんと読む

◆一人で悩まずすぐに相談する

契約書



全労済 の なるほど 住宅保障講座

空気が乾燥するこの時期は、一年で一番火災の発生件数が多くなります。
万一の際に生活再建ができるよう、住宅保障の点検をしましょう。



「住まいの保障の点検を!」

①保障額を「再取得価額」ぴったりに設定しましょう。

月日がたてば、住宅や家財も古くなってしまいます。被害を受けた場合に購入時の価格や時価で保障されると生活再建が難しい場合があります。そのため被害にあったものと同程度のものを新たに購入・修理するために必要な費用(再取得価額)で保障を設定する必要があります。



②「住宅」と「家財」をトータルで考えましょう。

火災というとどうしても「住宅」だけを考えがちですが、「家財」も意外と多いものです。住宅とは違って、日常生活の中で長年にわたり買いそろえているために実感が薄いのかもしれません。保障を考える際には住宅と家財の両方をトータルで考えましょう。

③火事以外の保障も確認しましょう。

火災保険(共済)には、火事以外でも、落雷や外部からの物体の飛来による損害、持ち出し家財の損害、他人の住居からの水漏れなども保障に含まれている場合があります。知らないで請求しなかった、ということがないようにご注意ください。



➡ 住まいの保障を点検し、最適な保障に見直しましょう

■ 必要保障額について ■

生活再建を考えた保障を!

万一のときに、生活を再建するのに必要な費用が必要保障額です。Kirinのいい保障額での加入ではなく、本当に必要な費用を保障する額で、加入することをおすすめしています。必要とする保障額に不足する場合は、生活再建が難しくなる場合があります。



また必要保障額以上に加入されている場合は、掛金を無駄に多くお支払いいただいている場合があります。

■ 団地・マンション等の建物火災について ■

団地・マンション等の鉄筋住宅は燃えないから、火災保険(共済)はいらない?

→ 建物火災の約4.5件に1件が耐火住宅の火災です。

マンションなど、確かに燃えにくいといえますが、鉄筋コンクリートを含む、いわゆる耐火住宅の1年間の罹災件数は11,531件です(平成21年「消防白書」)。

また家財は建物構造にかかわらず、火事のときは真っ先に燃えてしまうことが多いようです。加えて、団地などの共同住宅で心配なのは、上の階からの生活水による水もれや下の階への水もらしによる損害の発生です。



自然災害保障付 火災共済

風水害等給付金付火災共済・自然災害共済

POINT

万一の時に再建できるために!

火災共済

- 最高6,000万円^(※1)の保障
- 万一のとき再建を第一に考えた“再取得価額保障”
- 70%以上の焼破損で全焼扱い



自然災害 共済

- 風水害のとき最高 4,200万円^(※2)
- 地震等のとき最高 1,800万円^(※2)
- 盗難による被害も保障

この頁は制度の概要を説明したものです。ご契約の際には「パンフレット」「ご契約のてびき」を必ずご覧ください。

※1: 600口加入の場合の最高保障額です。
※2: 大型タイプにご加入の場合

● 「住まいと暮らしの防災保障点検運動」実施中!! ●

◆お問い合わせ先 全労済愛知県本部 TEL: 052-681-7741 (平日9:00~17:00 土・日・祝日・年末年始は除く)

全労済は、将来の支払いに備えて、厚生労働省令に定められている共済契約準備金をこえる充分な積み立てを行っています。また、資産運用のリスクを適切に管理し、健全な資産運用を行っています。全労済は、これからも引き続き健全な経営に努めていくとともに、情報開示を積極的に行っていきます。また、個人情報保護法をはじめ関連する法令等を遵守し、お預かりしたお客さまに関する情報について厳重な管理体制のもとに正確性・機密性・安全性の確保に努めています。(※詳しくは各都道府県の全労済にお問い合わせください)。

●このページは制度の概要を説明したものです。ご契約の際には「パンフレット」「ご契約のてびき」を必ずご覧ください。●

新しく組合員になられる方へ(出資金について)

全労済は消費生活協同組合法にもとづき、非常利と共済事業を営む生活協同組合の連合会です。生活協同組合は、組合員の参加により運営されており、出資金をお支払いいただければ組合員となることができ、各種共済に入ります。新しく組合員となられる方には、生活協同組合運営のために出資(1,000円以上)をお願いしています。(出資金は1口100円で、最低1口以上の出資が必要です)。出資金は、加入される共済の掛け金払込方法に応じて下記のとおりお願いしています。●マイカー:掛け金の払込方法一月払い・年払いの場合ともに出資金1,000円(1回のみ)●ごくみん:掛け金の払込方法一月払い・年払いの場合1,200円(毎月100円×12ヶ月)●クローバー:掛け金の払込方法一年払いの場合1,000円(1回のみ)



保障のことなら
全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会
全労済は、營利を目的しない保障の
生協として共済事業を営み、組合員
の皆さまの安心とゆとりある暮らしを
めざしています。出資金をお支払いい
ただいて組合員になれば、各種共済を
ご利用いただけます。

全労済愛知県本部 (愛知県労働者共済生活協同組合)



「リサイクル」から「リユース&リサイクル」へ

特定非営利活動法人 中部リサイクル運動市民の会

シリーズNPO No.4

東海ろうきんの
「NPO寄付システム」が応援する
支援認定NPO団体です

オフィスはNPO関連の組織
がいくつか同居インキュベー
トオフィスの一角。「収益は地域貢献の
NPO支援に活用します」。お話を伺ったのは
共同代表のお一人、永田秀和さん(右)。



まだ深刻な資源問題もなく、「リサイクル」という言葉も辞書になかった1980年。その運動は、手の届く実践的アクション「空き缶集め」から始まった。以来32年「中部リサイクル運動市民の会」は、藤前干潟ゴミ処理場の中止・市の「ゴミ非常事態宣言」などを経て、地道な活動を続け、いまや市民生活に溶け込むほどの存在に。そしてさらに新しい“モノの価値”を「Re☆創庫」から提案する。

●リサイクルをめぐる2つの変化

「中部リサイクル市民運動の会」の主な活動は、各区のスーパーの駐車場の一角を借りての「リサイクルステーション」の運営だ。古紙・ビン・缶・古着など再生原料となる資源を、お買い物ついでの機会に回収する。「5・6年前までは、駐車場を貸していただけるスーパーさんがなかなかなかなかつたんです」と、リーダー二代目の共同代表、永田秀和さん。

「今は逆に工コの追い風で、環境対策の地域貢献で駐車場をぜひ使って、との申し出が増えました」と、お願意に回る立場が逆転した。これが第1の大きな変化。

第2の変化は、「まだ使えるね、と現場のボランティア(市民リサイクラー)の方たちが問題意識を持ちだした。また、持込める方も、誰かに使って欲しい、というケースが増えてきたんです」。その変化は「リユース」発想へと進化していく。

●名古屋大学大学院 竹内研究室との 「リユース」実証実験

2008年、リサイクルステーションの現

場で名古屋大学と共同で、リサイクル品目とリユース品目の仕分けから、モノがどう活かされるかの実証実験を行った。同じ場所でリユース品の提供も行い意識調査もしていった。すると、リユース品の7割を持って行ってもらえるという実績が出た。さらに、現場でのアンケートで、1点100円からの販売が可能という事業化に向けての好感度を得る。

ところが「実証実験では協力的だったスーパーさんも、“売る”部分は責任問題などで困る、と言われちゃったんです」。それは大きな壁だった。リユース品も集まり過ぎて、事務所スペースを圧迫するほどになってしまっていた。

●リユース・リサイクル拠点を全区に

その時、折よく取引先の古紙回収業者さんから、営業所移転で200坪の工場が空くので、割安に使ってみないかという話があった。そこからリユース事業が一気に具現化していく。

「資源回収+回収品目の仕分け作業+リユース品の販売の拠点『エコロジーセンターRe☆創庫(リソウコ)』が、まず1店舗、熱田区に実現しました」。その後Re☆創庫は春日井市にも2店舗めがオープンし、現在なんとか事業化の軌道に乗りつつある。

換金目的のオークションと違い、リユース品は無償で市民から提供され、それがまた100円～数100円で貰える。料金は手数料程度と捉えれば、生活に身近なモノが“物物交換”に近い形で流通する仕組みだ。

今後の目標は、名古屋市内の全区にリユース&リサイクルの拠点を確保していくことと、リユースの品目を増やしていくこと。リユースがアタリマエ、と言うほど浸透していくば「次に使う人のために大事に使う」という市民意識までいくのかもしれない。

特定非営利活動法人 中部リサイクル運動市民の会

■T460-0014

名古屋市中区富士見町9-16 有信ビル2F

●TEL (052)339-5541

●FAX (052)339-5651

●MAIL staff@es-net.jp

●HP http://www.es-net.jp

各募集中です
左記連絡先まで
お気軽にお問い合わせください

[NPO会員募集]

月3,000円の個人会員、月2,000円の学生会員から入会していただけます。

◎会員特典:会報のお届け。主催イベントでの割引、通販商品10%OFFなど。

[市民リサイクラー募集]

リサイクルステーションや、Re☆創庫でお手伝いいただける有償ボランティアを募集中です。

『中部リサイクル運動市民の会』は東海ろうきんの「NPO寄付システム」が応援する支援認定NPO団体です。月々100円からの寄付口座振替から始めるNPO支援で、あなたも地域貢献してみませんか。



(左上)リサイクル素材を活用しての工作イベント。(左中)回収の日程は、中日新聞の協力による折込広告で知られる。(左下)市民リサイクラーによる仕分け作業。リサイクル品で持ち込まれたものでも十分リユース品になるものがある。

愛知県福祉事業団体情報誌“ハナノキ”2013新年号 No.171

発行 愛知県労働者福祉協議会 名古屋市熱田区金山町一丁目14番18号 TEL(052)682-6029
ホームページアドレス : <http://aichi-rofuku.com/>

発行責任者 犬飼 孝志